



並木中等story

令和3年4月6日号

4月6日、始業式の校長挨拶の抜粋です。

新しい年度の初めに当たり、2つお話しします。1つ目は新型コロナウイルス関連です。今でも、検温、マスク着用、三密を防ぐことが必要です。また、給食など食事中は話をしないという約束は継続中です。よろしくお願いします。

皆さんや皆さんの同居家族がコロナ感染の疑いのある症状の場合は、学校に連絡の上、病院に行くか、自宅学習をしてください。昨年度と異なる点は、コロナの疑いで休んだ場合は届けを出してもらう点です。治癒した後でいいので、所定の用紙に記入し、提出してください。それにより、出校停止扱いになります。

春休みに感染が広まっている地域に行った人もいるでしょう。そのような人は、帰った日から2週間は体調の変化には十分注意して、ちょっとでもおかしいと感じた時は休んでください。学校でクラスターを発生させない努力をお願いします。

2つ目、メインの話です。皆さんは今の時代をどのような時代だと思ってますか？

コロナ感染拡大があります。米中の対立もあります。この先どのようなようになるか分からない混沌とした時代とも言えるでしょう。

それでは、このような時代の学びに大切なのは何でしょう。皆さんは日本の、そして世界のリーダーの候補生です。考えてみてください。

私の考えです。これからの学びは教えてもらうだけではダメだと思います。お互いが学んだことを持ち寄り、高め合う学びが必要だと思っています。実は、これに関しては皆さんの多くはもうできているのです。授業中の話し合いや討論の時のことを思い出してください。AさんがA案、BさんがB案を紹介しますが、話し合いをしているうちにより高度なC案を生み出したりします。シナジーとも言います。これが大切なのです。一人では生み出せないアイデアでも、2人、グループで考えることにより高度な考えが生み出されます。しかし、このこと簡単ではありません。条件があります。お互いが不安無く自由に発言できる環境が必要なのです。話し合いで否定をしたり、バカにする人がいたら、誰も何も意見できなくなります。お互いのリスペクト（尊重）が大切です。皆さんそれぞれがこの環境を大切にして、意見を出し合い、難問を乗り越えてみてください。

実は先生方も勉強しています。4月2日には、グループでお互いを知るエクササイズをした後、互いの理想の学校を紹介し合いました。この成果は後ほど掲示する予定です。後ほど見てください。令和3年度、学校全体で飛躍の年にしたいと思います。よろしくお願いします。